

若者活躍・定住促進で魅力あるまちへ ～子育て世代も惹きつける、若者に魅力的なまちづくりを実現～

令和6年 第4回山口市議会定例会 **質問と答弁**

県都の顔づくりについて

▶質問

新本庁舎に隣接する広場のパークロード沿いに、中央公園のような若者が集まるカフェの誘致を実現して欲しい。また、キッチンカーも営業できる規制緩和も必要だと思う。官民連携して、亀山周辺ゾーンにおけるまちづくりの方向性や取組について検討を進めているが、どのような意見があるのか伺う。



パークロードにおけるキッチンカーの営業イメージ

▶答弁

パークロードの歩道を活かしたキッチンカーの出店及びストリートファニチャーの設置といった意見や、若者のまちなかへの誘因を図る取組として、大学と連携した大学生の学習の拠点や活動の場づくりといった意見がある。

湯田温泉こんこんパークについて

▶質問

学生など若者が行う取組について市の見解を伺う。

▶答弁

若者のアイデアやチャレンジを湯田温泉の新たな賑わいに繋げることも取組の大きな柱の一つとして考えている。今年度は、学



湯田温泉こんこんパーク完成予想図

生が主体となって12月に実施するクリスマスマーケットについて、供用開始後の湯田温泉こんこんパークでの実施を見据えて、井上公園での開催の提案があり、指定管理者とプレイベントとしての実施に向け協議をしている。



施設活用イメージ図

新山口駅周辺の にぎわい創出について

▶質問

若者の地元就職、定住促進につなげる取組として、JR新山口駅を中心とした一帯を活用し多様な交流を図られている。今後の展開について伺う。

▶答弁

本年12月開催の新山口イルミネーションでは、学生の連携イベントが予定され、令和7年1月18日開催予定の学生企画事業について、今年5月から有志の学生が企画会議を重ね、準備を進めている。3月20日には、新山口駅北口駅前広場と南北自由通路を一体的に活用し、えきの笑顔まつりの開催を予定している。



2022年えきの笑顔まつり

▶議会での主張

若者活躍や定住のためには、若者に魅力的なまちづくり、若者が主催するイベントへの支援が必要であり、特に県内で最も学生の割合が多い本市の特徴を生かすことを要望する。

街路樹の管理状況について

▶質問

東京都日野市において、落下したイチョウの枝の下敷きになり死亡される事故が発生した。そこで、本市における街路樹の管理状況について伺う。イチョウは山口市の木でもあるが、イチョウを街路樹とした市道路線があるのか伺う。

▶答弁

維持管理については日常的な道路パトロールの中で、幹が倒れかかっているか、根上がりがないか、また、枝が折れていないか等について点検を行っている。異常を確認した際には、直ちに対処している。市道の街路樹については、現在、ケヤキやヤマボウシ等、約2,300本ある。イチョウを街路樹とする市道は大内の小京都ニュータウン内に「問田5号線」、「小京都1号線」、「小京都6号線」の3路線がある。

▶質問

市道3路線の街路樹、イチョウの状態について把握しているのか。

▶答弁

市道街路樹のイチョウ110本については、この日の野市での事故を受け、9月中旬に一斉点検を行った。その結果、5本に、イチョウの実、銀杏の重みによる枝のしなりを確認したため剪定を行った。



問田5号線(点検の結果異常なし) 10月4日撮影

▶議会での主張

県の管轄になるが、山口駅通りの街路樹もイチョウであり、県とも連携して点検等をしっかり行うよう要望する。

水道料金及び下水道使用料金改定に至った理由と使用者への周知について

▶質問

料金改定を判断するに至った理由について伺う。

▶答弁

今後10年間の経営見直し、財政シミュレーションを行い、水道事業については令和7年度から、公共下水道事業については令和6年度から損益は赤字と

なる見通しであり、今後10年においても解消される見込みがないことから、料金改定の判断に至った。

▶質問

料金改定の必要性について、市民に向けた周知、広報の取組について伺う。

▶答弁

今後、メーターの検針の際に各家庭へパンフレットやチラシのポスティングによる周知、広報を行い、さらに検針票を活用し、令和7年度以降に料金改定があることについてしっかりと説明する。

▶議会での主張

やむを得ない事情ということについて、しっかりと市民の皆様へ伝えるよう、理解を得る努力をすることを要望する。

雨水総合管理計画について

▶質問

令和8年度に策定を予定されているが、これまで取り組まれた施設整備がどのように関係して、最終的にどのような計画となるのか伺う。

▶答弁

令和5年度は、基礎調査を実施し、浸水リスク(浸水の起こりやすさ)や浸水規模(浸水による被害の大きさ)を整理し、地域ごとの優先度評価(ランク付け)を行った。令和6年度は、一定規模以上の雨水排水路等の測量調査等を実施し、特に大内地域は全域で実施する。その調査結果をふまえ令和7年度に浸水シミュレーションを実施する予定で、大内問田地区であれば現況の雨水排水路の測量結果に加え、これまで整備してきた雨水貯留施設や雨水ポンプ場、県が施工中の逆流防止の樋門を考慮し浸水シミュレーションを行う。今後は、浸水シミュレーションの結果に基づき雨水幹線やポンプ場の増強等を検討することとしている。特に仮設ポンプで対応している大内千坊地区は、問田川の大雨時の状況を踏まえると、雨水幹線や常設ポンプが必要になる可能性が高いと思う。



雨水ポンプ



[上]千坊雨水ポンプ場 [下]問田雨水ポンプ場

▶議会での主張

大内地区においては農業試験場跡地利用が検討されており、影響を十分考慮された雨水排水対策が実現できる計画となるよう要望する。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

